

1 施設概要

令和2年11月時点の情報

住 所：墨田区横川 5 - 7
敷地面積：5,334.73㎡
建築面積：約2,840㎡(本体建物) 約150㎡(駐車場ほか)
延べ面積：約9,680㎡(本体建物) 約200㎡(駐車場ほか)
用途地域：第1種住居地域、準工業地域
法定建蔽率：60% 法定容積率：300%
階 数：地上4階、塔屋1階 構造：鉄骨造
建物用途：事務所、診療所（患者の収容施設のないもの）、駐車場等
駐車台数：32台（うち車椅子利用者用1台、公用車用5台含む）
駐輪台数：200台程度（利用者用100台程度、職員用100台程度）

外観イメージ



2 平面計画

(1) 平面計画(案) 【別紙2】のとおり

(2) 機能構成

エントランス

- エントランスはメイン、サブともに南側に配置し、**プライバシーに配慮が必要な利用者の動線を分離**
- エントランスホールには、**総合窓口**を設置し、利用者をスムーズに専門窓口以案内することが可能
- 保健所【1階(乳幼児健診エリア)、2階(執務室エリア、管理エリア)、4階(検査室)】**
- 乳幼児健診エリア**は、エントランスホールから直接アクセスできる場所に配置。広々とした待合スペースと健診の流れに沿った室配置により、スムーズな利用が可能
- 2階執務室エリア**は見通しが良く利用しやすい窓口。北側には**相談室**を設け、プライバシーに配慮が必要な場合でも安心して利用することが可能
- 教育センター【3階】**
- 施設西側は、**教育センター**の窓口と様々な形の研修を行うことができる教職員の**研修室**を整備
- 東側プライバシーゾーンには、**ステップ学級・サポート学級**を配置し、**動線を分離**することでプライバシーに配慮
- 子育て支援総合センター【4階】**
- 施設西側は、**交流室**を中心としたオープンエリア。エレベーターを降りてすぐの位置に待合スペースを配置し、**施設を訪れた親子が気軽に立ち寄り**、子育て相談を受ける等、親同士の交流の場として利用可能
- 東側プライバシーゾーンには、各種の相談室等を配置。動線を分離することでプライバシーに配慮
- 共用施設**
- 「**カンファレンスルーム**」「**共用相談室**」では複雑な問題に関する相談の際に**複数の部署が連携**し対応
- ユニバーサルデザイン**に配慮した計画。各階にはだれでもトイレを設置し、1階のだれでもトイレには**大型ベッド**を設置
- 災害発生時は、「**カンファレンスルーム**」が保健衛生部門の活動拠点に。また、1階多目的ホールと共用部、駐車場などの外部スペースを活用し、「**地域内輸送拠点**」として機能

3 内部空間イメージ

エントランスホール



- 広々としたエントランスホール
- 総合窓口は、内容に応じて利用者を専門窓口につなぐことにより、スムーズな案内を実現
- 吹抜の自然採光により、明るくなじみやすい空間
- 施設利用者が気軽に交流し、情報を収集することができる区民ラウンジ

受付カウンター・執務室

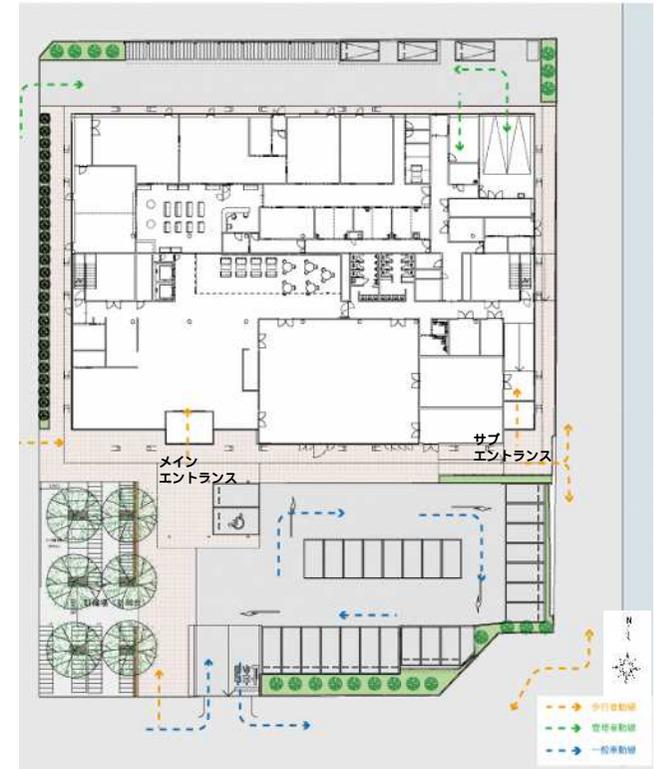


- 車いすやベビーカーの方も利用しやすい広々とした通路と、車いす対応の受付カウンター
- 見通しの良いオープンフロアと、分かりやすいサイン計画
- 明るく、ゆったりとした待合スペース
- ICTを活用した、待たずに利用できる窓口

4 外構計画

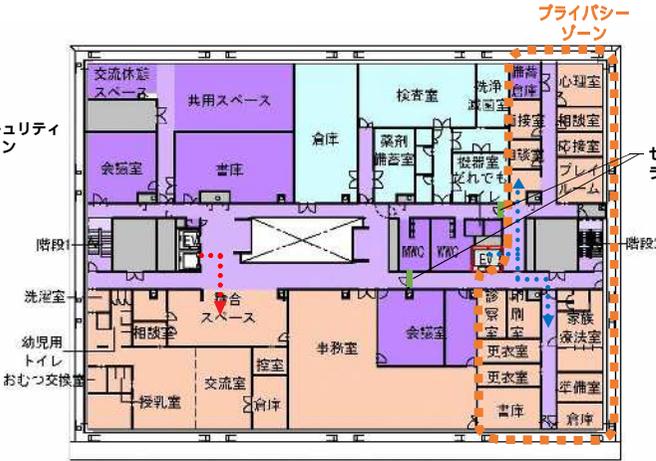
- バスや地下鉄など公共交通機関からの利用者動線に配慮し、南西角にメインエントランスを設け、南側・西側から敷地内にアクセスできる計画
- 横十間護岸整備と連携するよう東側にサブエントランスを設置
- 車による利用を想定し、充分な駐車スペースを確保。また、チャイルドシート付の子ども乗せ自転車でも利用しやすい駐輪場とし、駐輪台数も十分に確保する計画
- エントランスに面して車いす駐車場と思いやり駐車場、車寄せスペースを設置し、雨に濡れずにアクセスできる動線を確保
- 駐車場は春日通りからアクセスしやすい南側に集約し、入り口は幅8mを確保。駐車場内は一方通行として安全性に配慮
- 職員動線は北側に公用車駐車場、駐輪場、荷捌きを集約し通用口を設置
- 災害発生時には、1階の多目的ホールとターミナル備蓄倉庫、駐車場などの外部スペースが連携（地域内輸送拠点）。また、フラットな駐車場は様々な状況に応じ柔軟な活用が可能
- 大雨による都市型水害を想定し、1階の出入口には止水板を設置

植栽・ベンチのイメージ

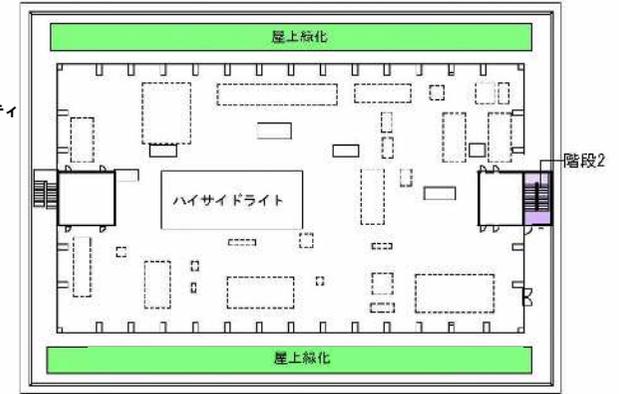




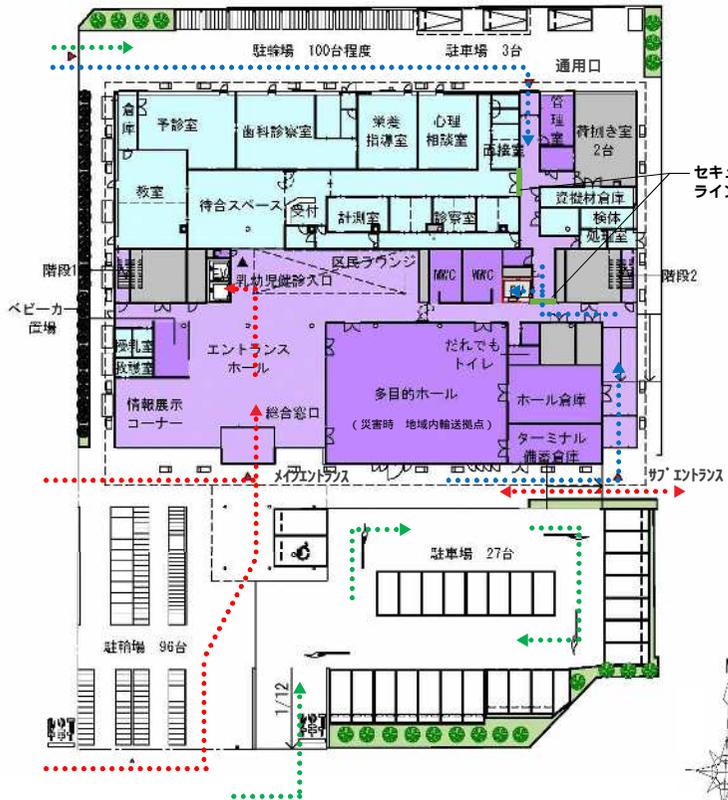
2階



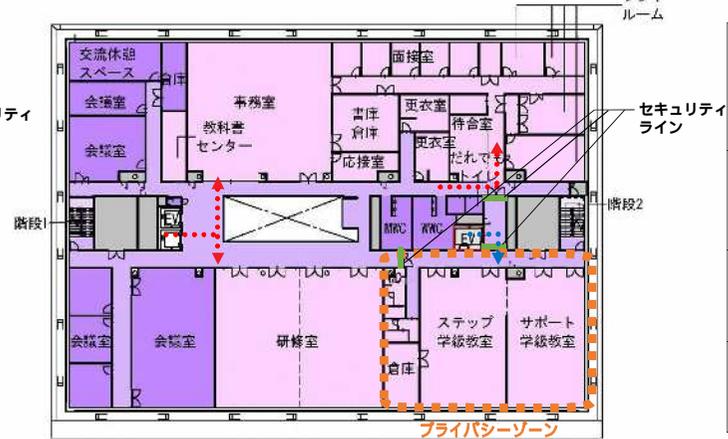
4階



R階



1階



3階

